

コミュニティ・スクール を紹介します

市では、学校と家庭、地域が力を合わせ学校の運営に取り組み、教育環境の充実を図る『コミュニティ・スクール（以下、CS）』（学校運営協議会）の導入を推進しています。

今号では、CSを導入した平成28年度から3年間モデル校として取り組み、現在も継続して取り組んでいる洞内小学校、松陽小学校、大深内中学校の3校の活動を紹介します。



洞内小・松陽小・大深内中3校による合同クリーン作戦

子どもたちのふるさとを大切に育てる心を育む

(洞内小学校)

洞内小学校（石郷岡 誠校長※令和元年度は川崎 親哉校長）では、子どもたちが地域への愛着や誇りを持ち、貢献しようという思いを育むため、南部洞内神楽保存会や洞内南部駒踊保存会の協力を得ながら、子どもたちは、地域の伝統芸能である「南部洞内神楽」や「南部駒踊」を体験的に学んでいます。



ナガイモ植え付け体験

その他、高齢者を敬い、親しみを持つ気持ちを育み、地域や学校に愛着を持つため、地域や学校の歴史を学び、洞内地区の良さをPRするなどの活動も行っています。

学校、地域と一緒に、地域の子どもの成長を見守っています。



南部洞内神楽保存会による夜間練習

また、豊かな自然を感じ、地域への愛着を持つため、地域のナガイモ栽培農家の協力により、特産であるナガイモの栽培体験を学習に取り入れています。



JR八戸駅で駒踊りを披露（洞内地区をPR）

地域で取り組む「子どもファースト」

(松陽小学校)

松陽小学校（畑山 ゆかり校長）では、南部駒踊立崎保存会の協力を得ながら江戸時代中期に伝えられたといわれる「立崎駒踊り」の伝承に取り組み、地域のお祭りや障害者支援施設などで披露しています。

また、保護者などが講師となり、児童らにナガイモの植え付けやスキーなど、さまざまな体験活動を行う「学校教育支援ボランティア」を実施しています。

その他、松陽地区体育振興会と連携し、地域住民も多数参加する運動会の実施や、地域の保育所や老人クラブとの交流会などを行っています。

学校と保護者、地域の団体、住民が一体となり「子どもファースト」に取り組んでいます。

★松陽小学校の父母と教師の会は、学校とPTA、地域住民が一丸となった取り組みが認められ、令和元年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞しました。



立崎神社例大祭で駒踊りを披露



立崎・八斗沢老人クラブとの交流会

駒踊りとボランティア活動を通して 地域に貢献する学校づくり

(大深内中学校)

大深内中学校（佐々木 隆一校長）では、洞内南部駒踊保存会や大深内地区少年駒踊り後援会の協力により、地域の伝統芸能である「南部駒踊」を教育活動に取り入れています。

十和田市秋まつりや高齢者施設の訪問などで生徒たちが駒踊りを披露することにより、伝統芸能の継承、PRにつなげています。



高齢者施設で南部駒踊を披露



清掃ボランティア活動

また、洞内・松陽小学校のCSや各町内会と連携しながら、地域の集会所などの清掃ボランティア活動を実施しています。生徒たちは、これらの活動を通して、地域の人たちとの交流や地域への理解を深めています。

「南部駒踊」とボランティア活動を通して、学校や保護者、地域住民が協力し、地域に貢献する学校づくりに取り組んでいます。

★大深内中学校学校運営協議会は、これまでの活動が認められ、令和元年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。